



赤道の近くはどうして暑いのか

赤道は地球上で最も太陽に近い

赤道は、人間が考えた想像上の線で、地球の円周で最も長く、全周4万7777キロメートル。緯度は0度です。

赤道は地球の中心からの距離がいちばん長く、6378キロメートルあります。これを太陽の側から見ると、赤道は最も太陽に近い線といえます。

このため、地球上で1年中最も太陽の光が強く当たる線なのです。

太陽の光は赤道からはなれる地方ほど弱くなり、南極・北極の極地で最も弱くなるのです。

太陽が真上から照らす

赤道上では春分と秋分には、太陽が真上から照らし、また、ほかの日も1年中太陽が付近を照らすので、気温が高く、最も暑い地方といえます。

この赤道を中心に、緯度で南北23度付近までを熱帯とよんでいきます。熱帯は、1年中高温で、雨がが多いのです。日本のような春夏秋冬の四季はありません。

(監修 村山貢司)

